

水稻生産者のみなさまへ

プラスチック被覆肥料の 被膜殻の流出防止に ご協力ください



プラスチック被覆肥料

水稻用の一発肥料としてよく利用されているプラスチック被覆肥料は、軽労化や施肥量の削減につながるなどの利点がありますが、表面をプラスチックの被膜でコーティングしているため、水田では肥料成分が溶出した後の被膜殻が水面に浮上し、河川等へ流出する可能性があります。

肥料成分が溶出した後の被膜殻



**水田外へ
流さないために**

まず出来る取組から
始めましょう！



詳しくは裏面へ▶

岡山県プラスチック被膜殻流出防止対策協議会

対策のポイント

重要

代かき直後に被膜殻の9割が流出！

浅水代かきで防ぎましょう

被膜殻を土の中に練り込むように行うことで、被膜殻の田面への浮上を防止し、水田外への流出を削減。

- 入水までに田面の高低差をなくし、できるだけ均平にする。
- 代かきは田面が7～8割見える程度の浅水で行う。



浅水代かきのメリット

メリット1

稲わらや草を土に
埋め込みやすいので
田植精度・除草効果が向上！

メリット2

田面が確認しやすく
均平が取りやすいので
水管理の均一化が可能に！

メリット3

肥料成分の
流出を防げるので
肥料効果向上！

**除草効果
拡大！**



施肥方法・肥料の見直し

- プラスチックを使用していない緩効性肥料※や流し込み液肥の活用。
- 土壌診断や栽培暦等に基づいた適正施肥に努める。
- 緑肥や堆肥などの有機質肥料の活用。

※早生は慣行肥料と同等の効果。
中晩生は追肥(穂肥)をすることを
前提に導入を検討。

水田外に出さない対応

☑ 捕集ネットの設置

①準備するもの

[材料例]

- 玉ねぎネット
- BBQ用の網
- ※ネットの網目は2mm以下
- クリップ
- 園芸用支柱



②水尻に設置

わら等の残渣が
ネットに詰まること
を減らすため、柵を
2重にして設置す
るなどしましょう。



☑ プラスチック被膜殻のすくい取り

- 田面に浮いている被膜殻を適宜すくい取り、河川等に流出させないようにする。

☑ あぜの点検・補修

- あぜが崩れていないかを確認し、必要に応じてあぜ塗りやあぜシートを設置する。

☑ 田植前は自然落水で

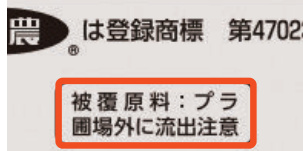
- 田植前の落水は行わず、自然落水で水位を調整する。



参考情報(被覆原料の表示について)

- 肥料の被覆原料に何が使用されているか、国の告示に基づき肥料袋等に表示されています。
- 肥料の購入や使用に際し、袋に表示されている被覆原料を確認の上、プラスチック被膜殻の流出防止対策にご協力をお願いします。

欄外に記載



(例)被覆原料：プラスチック

対策動画



被覆肥料に
関する情報

